

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現状 (DO)	事務事業名	No. 580402	図書館奉仕（図書の出借等）事業				主管課名	教育行政課				
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	小野田幸男				
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち									
		基本事業	図書館の整備									
	(1)事業の概要											
	利用者のニーズに応え、図書の貸出・返却を行い、また希望する情報を得るための補助、案内を行う。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
	図書館奉仕 カウンター業務（貸出返却、閲覧） 図書督促業務、文献複写、図書配架維持管理業務、 視聴覚資料管理業務、レファレンスサービス（読書相談）						名 称		単 位			
							貸出の総数		冊			
							入館者数		人			
							その指標					
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		カウンター業務(貸出返却、閲覧)・新聞雑誌受入業務・図書督促業務・文献複写・インターネットサービス・図書配架維持管理業務・印刷物等館内掲示業務・視聴覚資料管理業務・団体貸出業務・レファレンスサービス(読書相談、調査・研究)										
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容										
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
市民						名 称		単 位				
						人口		人				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
利用しやすい図書館サービスの提供を受ける						名 称		単 位				
						読書相談件数		件				
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
利用しやすい図書館サービスを充実し、知識や教養を得てもらう。						名 称		単 位				
						市民1人当たりの図書利用冊数		冊				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の活動指標		冊	335,874	334,063	335,000	336,000	336,000	337,000				
		人	96,628	94,458	95,000	95,000	96,000	96,000				
(6)の対象指標		人	58,216	58,762	60,600	61,400	62,500	63,700				
		件	2,002	2,028	2,000	2,000	2,000	2,000				
(8)の結果の成果指標		冊	5.8	5.7	5.8	5.8	5.8	5.8				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	04
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	931	686	760	760	760	760				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	27	30	30	30	30	30				
	一般財源	千円	904	656	730	730	730	730				
人件費B		千円	2,213	2,255	2,255	2,255	2,255	2,255				
正職員従事時間×人数		時間×人	120×5	120×5	120×5	120×5	120×5	120×5				
正職員以外の人件費		千円										
その他費用C		千円										
トータルコストA+B+C		千円	3,144	2,941	3,015	3,015	3,015	3,015				
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人	0	0	0	0	0	0				

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No. 580402	図書館奉仕（図書の貸出等）事業		
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？		昭和53年4月 図書館開館当初 から		(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？		昭和46年中央公民館図書室オープン		
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？		変化していない 変化している → 変化した内容		
		利用者のニーズが多様化している		専門職員の配置 電算システムの安定した維持管理 利用状況から手狭である。	

3 評価（SEE）	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 →	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
		自治事務 →	根拠法令	図書館法	この事務を行う根拠又は理由	
				第3条に基づく		
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	結びつく 結びつかない →	理由			
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	できる → 拡大 できない → 縮小	内容			
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充（意図の段階は正しいか）又は絞込み）はできませんか？	できる → 追加 できない → 拡充 絞込み	内容			
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある → 影響はない	理由 又は 内容			
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない	理由 又は 内容	図書館の雰囲気作り、職員の技量向上。		
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 ない → 庁外事業	類似事業名	類似事業との再編の可能性	ある → ない	内容
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？（仕様や工法の変更、住民の協力など）	ある → ない	内容			
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？（従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？）	ある → ない	内容				
(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 ない → 検討が必要 → 受益者がいない	内容				

4 改革改善案（PLAN）	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	ネットワークシステムを活用し、瞬時に情報を得られる場としての役割を担い、また高齢化社会、生涯学習施設のサービスポイントとしての分館等の整備が利用状況からみても急務である。 図書の研修等を受講し、職員の専門性を高める。					